

## ■報道関係各位



DK-NL018  
2016年10月

# ビタミンCのパイオニア ドクター亀山が考える 「眼の下のクマ、 どうしたら治る？」

News Letter NO.

18



皮膚科専門医・医学博士 亀山孝一郎

青山ヒフ科クリニック院長  
ドクターKEI開発者

大人気！「Dr.亀山オフィシャルブログ」  
<http://ameblo.jp/aoyamahihuka/>

### ●CONTENTS

- ・今月のテーマ 「眼の下のクマ、どうしたら治る？」 ... P1
- ・今月のテーマにおススメ製品 ... P3
- ・今月のテーマにおススメ施術 ... P3
- ・Dr.亀山コラム「盛り上がったシミの治療あきらめいませんか？」 ... P4

ニュースレター記載グラフ＆エビデンスデータ各種は、貴媒体ご企画にてご活用いただければと存じます。  
追加ご取材・資料手配等もお気軽にお問合せ下さい。

◇ドクター亀山が語る！ 今月のテーマ：「眼の下のクマ、どうしたら治る？」

## ■なかなか治らない眼の下のクマ

眼の下のクマ、どうしたら治るのでしょう？

眼の下にクマができた。何とかしてほしいと来院される方はたくさんいらっしゃいます。眼の下をよく観察すると、いろいろなクマの種類があることがわかります。



## ■3種類のクマ

**青クマ**：眼の下に青くうっすらと出現します。眼の下の毛細血管の還元ヘモグロビンが皮膚というフィルターを通してみるために青く見えます。手足の静脈が青く見えるのと同じですね。眼の下には多くの毛細血管が集まっており、血行が悪くなると静脈は拡張し、血管の中の多数の還元ヘモグロビンが皮膚の上から透けて見える状態になります。症状が進行すると拡張した血管により、皮膚が帯状に盛り上がります。見分け方は眼の下の皮膚を下や外に引っ張りテンションを上げてやると、血管が押されて収縮して青みが低下したり、消えます。血行低下は冷え、ストレス、加齢などで起こります。対策としては皮膚を厚くして、血行をよくしてあげればいいのです。

**茶クマ**：眼の下に茶色く出現します。青クマは眼の下ぎりぎりのところには出現しません。茶クマは眼の下ぎりぎりのところ、下まぶたのまつ毛が生えているところから出現することがあります。皮膚のメラニン色素が増えた状態です。皮膚を左右に動かすと、皮膚に存在する褐色の色素は一緒に動きます。皮膚のテンションを上げても薄くなりません。原因はアトピー性皮膚炎、花粉症皮膚炎あるいは両側性太田母斑などの体質によるもの、不適切なメイク、スキンケアにより、軽い炎症性の色素沈着を起こした場合などがあります。治療は皮膚のメラニンを低下させる美白治療と、花粉などが皮膚に入り込んで炎症を起こさないように、皮膚のバリア機能を上げることです。両側性太田母斑の場合はレーザー治療も視野に入ります。

**黒クマ**：眼の下に黒っぽい陰影が出現します。皮膚の突出により、光の反射が低下して起こります。皮膚を左右や下に動かしてふくらみを低下させると陰影は消失します。眼の下に脂肪が付着して突出した状態です。対策は皮膚のテンションを上げる事、付着した脂肪を除去することです。

◇ドクター亀山が語る！ 今月のテーマ：「眼の下のクマ、どうしたら治る？」

## ■ 3つのクマの共通原因と改善方法

これらのクマは別々に起こることも、合併して生じることもあります。

3種類のクマの原因として共通していることは、眼の下の皮膚がすごく薄いために生じることです。ですからクマ対策全般として、皮膚の代謝を上げてやることが必要です。その結果、皮膚が厚くなり、下の血管が透けて見えなくなります。

また代謝促進の結果、皮膚のテンションが上がり、脂肪や血管で膨らんでいた皮膚が平らになります。代謝が上がればバリア機能も向上して、アトピー・乾燥肌による茶クマが良くなります。

## ■ 黒クマ治療例

こちらの方は軽度の黒クマで来院されました。（図1）ヒアルロン酸と高濃度ビタミンCをミックスしたスーパーメソセラピーを行うと眼の下のふくらみは全て消失しました。（図2）



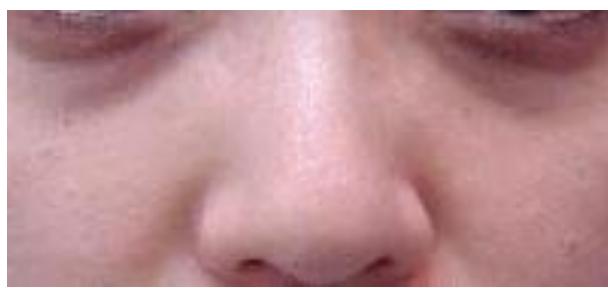
（図1）



（図2）

## ■ 青クマ・茶クマ合併の治療例

こちらの方は青クマと茶クマの合併です。（図3）高濃度ビタミンCやレチノールの外用、ジエネシス（ヤグレーザー）の照射、ニューロノックスの皮内注射により、皮膚の代謝促進と美白を促しました。眼の下のふくらみは消失して、色も薄くなっています。（図4）皮膚の代謝を上げて、美白作用を発揮し、血行を促進するカクテルビタミンによるスキンケアと内服を中心とした治療が主役ですね。



（図3）



（図4）

# ビタミンCのパイオニア ドクター亀山が考える “眼の下のクマ、どうしたら治る？”

## ◇今月のおススメ製品： ケイカクテルVプレミアムクリーム

容量/価格：30g/¥16,000(税抜)

カクテルビタミンプレミアムが肌の代謝アップ + 美白 + コラーゲン産生。  
さらに高保湿で、目元のクマも狙い撃ち！

目元のクマには代謝アップが不可欠。

ケイカクテルVプレミアムクリームは、肌の酸化と糖化に  
有効なオリジナルのカクテルビタミンプレミアムを配合。

カクテルビタミンプレミアムには、肌の代謝に必要なビタ  
ミン（ビタミンC、ビタミンB1,B2,B6,B12）が全て含  
まれており、若々しいハリのある肌に整えます。

また、ビタミンCによる美白効果、コラーゲン産生促進  
プラス クリームの持つ抗糖化作用によるくすみの軽減で、  
ピンとして明るい目元に。

植物系の保湿成分も贅沢に配合しているので、これから  
乾燥する季節でも、これ一つで顔全体も目元もずっとうる  
おいが続きます。



## ◇今月のおススメ施術：どんなクマもおまかせ！ジェネシス（ヤグレーザー）

### ■ジェネシス（ヤグレーザー） /1回:¥15,000(税抜)

肌細胞内の発電機、ミトコンドリアを一気に活性化させ肌の代謝をアップさせます。さらにコ  
ラーゲン増加とリフトアップを行い、気になる目元のクマも短時間で撃退できます！

\*目元のデリケートな部位への施術となりますので、ドクター亀山が施術を行います。

#### ●STEP1：ドクター亀山による問診

クマの状況を確認し、施術詳細を決定します。

#### ●STEP2：目元のクレンジング

クマ部分のメイクを落とします。

#### ●STEP3：レーザー照射

右の写真のように眼にゴーグルを乗せ、クマの部分に  
レーザーを照射していきます。

所要時間 5分程度。



#### ●STEP4：お化粧直し

メイクブースでご自身でお化粧を直していただき、  
終了です。

ダウンタイムは一切ありません。すぐにお帰りいただけ  
ます。

# ビタミンCのパイオニア ドクター亀山が考える “眼の下のクマ、どうしたら治る？”

## 青山ヒフ科クリニック概要



### 青山ヒフ科クリニック院長

皮膚科専門医 医学博士 亀山孝一郎

1980年 北里大学医学部卒業。その後北里大学皮膚科に入局。

1986年1月～1989年5月 世界最大の研究所・米国立保健衛生研究所(National Institutes of Health, NIH)にてメラニンの生成について最新研究に没頭。

米国から帰国後、皮膚科専門医、医学博士などの資格を取り、北里大学皮膚科の講師に。

1994年 自由が丘クリニックの皮膚科部長に就任。

1999年 世界に先駆けて、“ビタミンCのニキビに対する効果”と題して論文執筆。

この研究をきっかけに、ビタミンCとニキビ、テカリ、オイリー肌との関係を詳しく分析し、ビタミンC療法の第一人者と呼ばれるようになる。

1999年 独立し、青山ヒフ科クリニックを開設。

2002年6月 オリジナル化粧品「ドクター・ケイ」を発表。

## 盛り上がったシミの治療あきらめていませんか？

30歳以上のほとんどの日本人の顔にはシミがあります。

シミができて紫外線を浴びる日が継続すると、

シミは盛り上がってきます。

これを老人性疣（ゆうぜい）といいます。

平らなシミはQスイッチアレキサンドライトレーザーで取れます。

盛り上がったシミは炭酸ガスレーザーで除去することが可能です。



頬の盛り上がったシミ【治療前】

レーザーで色素沈着を起こしやすい方には、レーザー照射後  
ただちに高濃度ビタミンCを皮膚に直接注射する

「ホワイトニングメソセラピー」が有効です。

またビタミンCやハイチオールなどの内服も

レーザー後の色素沈着の防止に効果があります。

治療後、シミはなくなり、色素沈着もありません。

盛り上がったシミ、あきらめないで下さい。



【治療後】

〒107-0061 東京都港区北青山3-12-9 花茂ビル3F

TEL: 03-3499-1214 (完全予約制)

〈診療時間〉11:00～20:00 (土曜～19:00)

休診日 木曜日・祝日・日曜日

HP: <http://www.aoyamahihuka.com/>



株式会社ドクター・ケイ

〒107-0061 東京都港区北青山3-12-9 花茂ビル3F

TEL: 0120-68-1217

HP: <http://www.doctork.jp/>

〈本件に関するお問合せ先・製品貸出依頼先〉

ドクター・ケイ広報事務局(ヌーヴェル・ヴァーグ内)

担当: 鈴木・真鍋・吉田

TEL: 03-5722-1420 FAX: 03-5722-1407 MAIL: [info@nv-pr.com](mailto:info@nv-pr.com)